

船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」

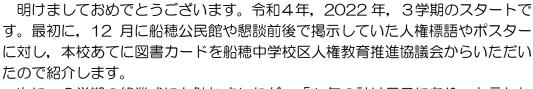
第 19 号 令和 4 年 1 月 7 日

3学期台業式にて



新年明けましておめでとうございます。1月7日(金)3学期始業式を迎えました。新年を迎えるにあたり、地域の方からしめ縄飾りをいただきました。玄関に飾らせていただきました。ありがとうございました。船穂公民館で12月25日に行われた講座に小林教頭先生が進んで参加し、素敵な門松を作り、玄関先で本校の生徒を迎えました。

それでは、3学期始業式に話をした内容を紹介します。





玄関にて

次に、2学期の終業式にも触れましたが、「1年の計は元旦にあり」と言われ ます。昨年も触れたように、年の初めに目当てを決めて取り組むことが大事であ るということです。生徒の皆さん、1 年の始まりにあたっての目当ては決まりま したか。皆さんのその思いや願いを一つでも多く実現させる 1 年であって欲しい と思います。さて,私は,冬休みにある大型商業施設で催されていた門松づくり に参加してきました。できた作品が左の写真です。いつもであれば、子どもが楽 しそうに作ってくれるのですが、「今年はアルバイトだから作れない」とダメ出 しを受けたので、当日の朝、参加して作成しました。やり方は単純で、竹以外の 差す商品を選び、次に、用紙に書かれている指示に従って、差していくというも のでした。今までは、子どもが作るのを見て感想を言うだけでしたので、自分で 行うと思ったより大変でした。差し方や位置、バランスなど思っていた以上に悩 み、意外に時間もかかりました。作業中には、担当者から、門松の由来や備え始 める日を教えてもらうこともでき、満足感を得ることができました。アインシュ タイン 150 の言葉という本には、「何かを学ぶためには、自分で体験する以上に いい方法はない」ということが書いてあります。私も改めて実感しましたが、1回 やってみるかどうかで経験値は確実に変わります。



皆さんも、良いと思ったことは、私のように小さなチャレンジからでも構いません。自ら進んでトライして学びに変えてください。

玉島警察署で表彰式





3年 B 組の矢部菜々美さんが、「第60回中国防犯連合会連絡協議会中学生防犯作文コンクール 優秀賞」を受け、玉島警察署にてその表彰式が令和3年12月23日(木)に行われました。その後、玉島警察署や玉島ケーブルテレビの担当者から防犯作文に書かれていた内容をぜひ、市民にも届けてほしいという熱い要望がありました。突然ではありましたが、その思いを受け止め、その場で防犯作文をしっかりと読み、訴えかけていく姿はすばらしいものでした。